



健康と温泉フォーラム 第52回月例研究会のご案内

- 主催：NPO法人健康と温泉フォーラム 地域活性学会 NPO法人日本スパ振興協会
- 日時：2015年4月24日(金) 13:30~17:00 (受付13:00から)
- 会場：PHP研究所東京本社2階会議室 (東京都千代田区1番町21番地
1番町東急ビル：東京メトロ半蔵門線半蔵門駅5番出口すぐ上)
- テーマ：「医療福祉の連携における温泉の活用—介護予防とフレイル」
- 講演者：出口 晃 (小山田記念温泉病院内科部長)

小山田記念温泉病院は、三重県四日市市中心部より約10Km離れた郊外にある。一般病棟以外に、回復期リハビリテーション病棟、特殊疾患療養病棟、介護療養型医療施設があり、合計390床である。1977年当院の前身である小山田病院が開設された。1986年11月新築移転時に温泉が発掘され、温泉施設を作るとともに小山田記念温泉病院と改名した。当院に隣接して介護老人福祉施設、介護老人保健施設、ケアハウス、地域交流ホーム等の施設群があり、小山田総合医療福祉センターを形成している。病院を含めたこの施設群において、入院患者、施設入所者、在宅患者、地域住民に対して行ってきた活動を報告する。

介護保険制度は2000年に開始され、2006年の介護保険法の改正により介護予防という支援が導入された。介護予防には、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上等が含まれている。当院では、運動器の機能向上という面から、温泉プールを介護予防にも利用している。2014年5月に「フレイルに関する日本老年医学会からのステートメント」が発表された。“Frailty”という中間的な段階を経て、徐々に要介護状態に陥ると考えられている。フレイルの意義を周知し、食事や運動によるフレイルの一次、二次予防の重要性を認識すべきであると、表明している。「フレイル」に対して温泉が介入できる可能性について考えたい。

(*) 医療・介護分野ですが、病院における先生の日常の温泉活用の経験に基づく知見は、一般の方たちにも十分、分かりやすく、説得力のある温泉の不思議な力を改めて確認できる、大変貴重なお話です。(合田)

【参考論文】

- 1)川村陽一、出口晃:老人施設の中の生活習慣病とQOLのとらえかた.総合7.7(12):21-25、1997
- 2)Deguchi A, et al.:Improving symptoms of senile dementia by a night-time spa bathing. Arch Gerontol Geriatrics 29:267-273、1999
- 3)出口晃、浜口均:痴呆および生活習慣病対策に効果的な温泉療法の活用.GPnet.50(9):47-51、2003
- 4)出口晃：脳血管障害・老年期認知症.新・湯治のすすめ(合田純人編)、NPO法人健康と温泉フォーラム、東京、pp23-25、2009
- 5)出口晃：温泉地療法の中期的効果.日本温泉気候物理医学会雑誌.78:3-4、2014

【略歴】

- 1983年 三重大学医学部卒業
- 1987年 三重大学大学院医学研究科博士課程修了
- 1987年 小山田記念温泉病院内科勤務
- 1991年 Queen Elizabeth Geriatric Centre(Ballarat, Australia)で老年医学・老年福祉の研修
- 1993年 小山田記念温泉病院内科部長 現在にいたる

【役職・資格】

日本温泉気候物理医学会理事、温泉療法医、温泉療法専門医、日本老年医学会代議員



■プログラム（予定）

1300 受付
1330～1340 背景説明
1340～1440 講演
1440～1500 休憩
1500～1645 デスカッション 質疑
1645～1700 まとめ閉会

■定員 60名

■参加費 2000円（健康と温泉フォーラム、地域活性学会、日本スパ振興協会各会員）
3000円（一般）
無料（学生・報道） 当日受付でお支払いください。

■お申込み・お問い合わせ

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局までE-mailまたはFAXにてお申込みください。定員先着60名とさせていただきます。

E-mail info@onsen-forum.jp TEL&FAX 03-6804-8575

E-mail info@onsen-forum.jp Fax 03-6804-8575

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書（各□に✓をお願いします）

第52回月例研究会（2015年4月24日（金））に出席します。

●お名前（複数可）

●団体名

●住所 〒

●連絡先 TEL
E-mail

FAX
携帯☎